



派遣留学報告書

資料 9

記入日 H31年 1月28日	
氏名 ふ り が な	こやま さとき 小山 悟生
所属学部・研究科	理学部 4年次(留学開始時点)
学 生 番 号	B154430
留 学 先 大 学	ベトナムハノイ自然科学 大学 (国名:ベトナム)
所属学部・学科等名	化学科
在 籍 身 分	交換留学生
留 学 期 間	H30年 10月 1日~ H30年 12月 28日

1. 留学するまで	
留学しようと思ったきっかけ・理由	うまく説明できないのですが、昔からベトナムが好きで留学の話が舞い込んできた時にこれは行くしかないと思いました。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	詳しくは覚えていませんが、係の方々の指示に従って準備を始めました。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	予防接種は日をあけて早めに済ませたほうが良いと思います。時間を空けて複数回行うものもあるのでぎりぎりになると大変です。

2. 渡航について	
ビザについて	ビザの種類: シングル
	ビザ申請先: 在大阪ベトナム総領事館
	提出書類: 申請書、パスポート、お金
	手続きに要した日数: 直接行ったので即日もらえました。
その他必要な事前手続き	携帯の契約がどうなってるのかは確認しに行きました。
出国年月日	H30年 10月 1日
経路(往路)	広島→羽田→ノイバイ空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (○大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	なし



留学先でかかった病気、けが	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、具体的な症状等（情報共有しても差し支えなければ）	かなりひどく腹を下しました。
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回数、費用、受けた医療機関名	狂犬病、A型肝炎（2回）、B型肝炎（2回）
日常的な健康について不安が	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：よく腹を下します。
留学先国の医療事情（日本と比較して）	病院は行ったことがないのでわかりませんが、薬を売っている場所はそこら中にあります。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	不衛生な場所や物に触れることは多くあると思います。水道から変なおいがしたりトイレにかたつむりが大量発生することもありましたが、しばらくいると何も気にならなくなります。ですが水道水を飲んだり現地の方もしないようなことはしない方がいいと思います。
(3) 食生活についてのアドバイス	
美味しいものがたくさんあるのでいろいろ試してみてください。安いのでたくさん食べられます。お酒はほとんどビールです。	
(4) 服装についてのアドバイス	
12月は寒い時はとても寒いです。コート持ってきてよかったーって思う場面が時々ありました。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
研究室の中ではwi-fiがつかえます。お店の中や駅や博物館など、wi-fiの使える場所は多いです。何かで困った時はカフェを探すといいと思います。	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
同じ大学のよく合う人たちとは話をする機会が多いです。ハノイの日本人学生たちのライングループがあってそれを通して現地に暮らす多くの日本人に会えました。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
正直に言うのが礼儀みたいですが、出されたものなんでもおいしいって言っていると信用できないって言われました。でも別にまずいわけでもないまずいって言うわけにもいかないんで感想が単調にならないようにいろいろな言い方ができるといいかもしれません。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	



和服だとか味噌汁だとか日本のものを持っていくと多少盛り上げられます。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

街中で知らない人が近寄ってくることがあります。ニコニコしてコンニチハーとか言われるので気を許してしまいがちですが、こういう時はだいたいお金目当てなので何も買う気が無ければ毅然としていた方がいいと思います。普通に土産物店で買うより明らかに値段が高いことが多いです。高いだけならいいのですが自分の場合はマリファナが出てきたことが出てきたことがありました。海外の生活はとても楽しいのですが、気を付けるべきところは気を付けた方がいいと思います。

6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	H31年 3月 (当初の卒業予定年月 H31年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)
現在の状況および今後の予定・進路等	修士課程に進学
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	

7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

知識も英語力も技術もなく、気持ちだけで行かせてもらいました。その分苦しむことも多かったです。悩みの尽きない三カ月だったような気がします。ずっと長い夢を見ているみたいでした。この留学をとっても楽しみにしていたこともあり、うまくいかないことに傷つくことも多く、得た自信よりも失った自信の方が多いと思います。それでも！帰ってきてちょうど一カ月目の日にこれを書いているのですが、今振り返ってみると、もう一度行きたいなあという気持ちでいっぱいになります。そんな不思議な魅力のある三カ月をおくらせてもらいました。

後輩へのメッセージ：

留学するしないは別として、留学生とたくさん話をしてもらいたいです。ハノイでとても仲良くしてくれた思い出深い友人がいます。彼は、英語があまり得意ではなさそうでしたが、ネットを使ったり、周りに教えてもらったりしながら、自分の言葉で伝えようとしてくれた子でした。一留学生の気持ちとしては、意味の分かりやすいきれいな英語を話してくれるかどうかよりも、自分と話してくれようとする姿勢がとても嬉しかったです。

9. 自由記述 (1200字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

ハノイでの暮らしについて書こうと思います。朝は近所の鶏の鳴き声で目が覚めることが多いです。ベトナムの朝は早く、7時ぐらいには営業を始めている店もたくさんあります。学校へはバスに乗って30分ぐらいでした。学校に行くのに決まった時間はないのですが、だいたい9時半ごろに着くことが多かったです。そこでは先生の実験のお手伝いをさせて頂きました。日本で自分がしていることは全く違い、英語もそんなにできないので、迷惑をかけてしまったり、時には怒られることもありました。反省させられることが多かったです。お昼は学生たちのたまり場になっている中央の研究室で友達と食べる事が多かったです。とても大切な時間でした。一人でハノイ来ていたので、こうして自分の居場所をくれたことにはとても感謝しています。午後からも同様に実験をして、4時半ごろに帰ることが多かったです。普段の暮らしはこんな感じでした。



ある時、先生から休みを頂いたので、旅行に行きました。何の計画も立てずに空港に行って始まった旅でしたが、困っても何とかなってしまうものでした。ホテルがなくても、道に迷ったりしても、その度に新しい出会いがあって、とても楽しむことができました。ホイアンという町には、日本人のお墓があります。江戸時代の方なのですが、ベトナムの恋人に会うためにホイアンに行き、道中で倒れてしまったらしいです。ベトナムではたまに日本と少し縁を感じる場面があります。歴史地区をよく回ったのですが、そういう場所では日本とベトナムは遠いようで身近な国であることがたびたび感じられます。



僕のベトナム留学で最も幸運だったのは、住む環境に恵まれたことです。他に外国人もいないし、商店街の路地裏みたいな所に住んでいたため、みんなすぐに顔を覚えてくれました。悲しい気分でも家に帰ってきた時も楽しい気分でも帰ってきた時もいつもニコニコして手を振ったりしてくれました。お隣のおばさんはゴミ捨ての場所を教えてくださいました。お隣の叔父さんは日本語で挨拶してくれるしお酒とかサービスしてくれます。フォーを作っているおばさんは英語ができるので店に行くときたくさん話しかけてくれるし自分が帰る日にちを覚えていてくれました。スーパーの店員さん達とは飲み会もしました。自分のためだけに英語で金額を言ってくれます。みんな大好きであの商店街に住まわせてもらえて本当に良かったです。この三カ月で一番心の支えになってくれました。最後はアオザイを着て挨拶回りもさせてもらいました。

最後に、ベトナムに暮らしていて思ったのですが、ベトナム人は根がとても優しい人が多いです。僕は犬が好きなので、ベトナムの犬ともよく戯れてきたのですが、ベトナムの犬は日本と違い首輪をつけずにそこら中を走り回っていることが多いです。気が付くと犬が足元をうろちょろしていたり僕の鞆をおもちゃだと思って噛みついてくる犬もいました。ベトナムには日本人から見るとゆるく感じるルールが多いです。どちらがいいというわけではないですが、日本人は揉め事を避けるために事前にルールを作り、それを守ることで世の中ができておき、ベトナム人は揉め事が起きた時にそれを恐れず揉めますが、なんだかんだでいいことは許すことができる優しい国民性故にルールに多少のゆるさがあっても平和でいられるのだと思いました。

